

慣用句の基本をマスター！
読み・書き・意味

名前

26 問

問題 一

(一) 次の慣用句の——部分の読みがなを()に
ひらがなで書きましょう。

- ① 目玉が飛び出る ()
- ② 腹が立つ ()
- ③ 猫の手も借りたい ()
- ④ 泡を食う ()
- ⑤ 陰で支える ()
- ⑥ 油を売る ()
- ⑦ 眉唾物 ()
- ⑧ 色眼鏡で見る ()
- ⑨ 太刀打ちできない ()
- ⑩ 火蓋を切る ()

(二) 次の慣用句のカタカナ部分を()に漢字で書きましょう。

- ① ホネを折る () 答え ()
 - ② イキをのむ () 答え ()
 - ③ ムシが好かない () 答え ()
 - ④ ハナが高い () 答え ()
 - ⑤ カタを落とす () 答え ()
- あまりの美しさや恐ろしさ、はっとして、一瞬息が止まるように感じる事。
ある目的のために、苦勞したり努力したりすること。
理由もなく、なんとなく相手のことが受け入れられない感じ。
何かを誇らしく思ったり、得意になったりすること。
がっかりしたり、元気がなくなったりする様子。

問題 二

(一) 次の慣用句の意味として正しいものを、ア～ウから選び、○をつけましょう。

- ① 目が点になる
ア 目がとても小さいこと。
イ とても驚いて、呆然とすること。
ウ 目にゴミが入って痛いこと。
- ② 鼻にかける
ア 鼻に何かを乗せて遊ぶこと。
イ 鼻風邪をひいて苦しいこと。
ウ 自分のことを自慢すること。
- ③ 口が重い
ア あまりしゃべらないこと。
イ 口の中に食べ物がいっぱいなこと。
ウ 言うことがとても大切なこと。
- ④ 手を焼く
ア 料理が上手なこと。
イ 扱いに困って、どうしようもなくなる事。
ウ 火傷をしてしまうこと。
- ⑤ 足が地に着かない
ア 空を飛んでいること。
イ 嬉しさや不安で落ち着かないこと。
ウ 靴が合わなくて歩きにくいこと。

(二) 次の意味に合う慣用句を、ア～ウから選び、○をつけましょう。

- ① とても忙しくて、どんな助けでも欲しいほどであること。
ア 油を売る イ 猫の手も借り ウ 骨を折る
- ② 自分の欠点や弱点を言われて、聞いているのがつらいこと。
ア 耳が痛い イ 目が回る ウ 頭が下がる
- ③ 長い時間歩いたり立っていたりして、足がとても疲れること。
ア 肩を落とす イ 足が棒になる ウ 腰を抜かす
- ④ 隠していた悪いことなどが、うっかり表に出してしまうこと。
ア 釘を刺す イ 尻尾を出す ウ 泡を食う
- ⑤ 何か悪いことが起こりそうな嫌な予感がすること。
ア 顔が広い イ 元の鞘に収まる ウ 虫の知らせ

問題 三

次【一】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。【油を売る】仕事や勉強の途中で、無駄話などをして怠けること。

